

2024 年度第 31 回千葉市美浜区サッカー大会(6年生以下の部)決勝戦 戦評



日時:2024 年 12 月 14 日(土)15:00 キックオフ
会場:千葉市立打瀬小学校
試合時間 40 分(20 分-5 分-20 分)
天候:晴、気温 12℃

主審:増田(美浜区サッカー協会)

副審:大浦(千葉市(若葉区)サッカー協会)、中間(美浜区サッカー協会)

第4審:若命(美浜区サッカー協会)

【試合結果】

バディーSC 千葉サックス VS GINGA FC

0-2

(前半:0-2)

(後半:0-0)

決勝は、バディーSC 千葉サックス(以下バディーS)対 GINGA FC(以下 GINGA)の対戦となった。

バディーS のキックオフで試合が始まる。GINGA は、3-3-1。バディーは2-1-3-1。

前半序盤は、バディーS ペース。前半3分 バディーS は右サイドを 13 番桐原君が抜け出し、2 番阿部君に繋ぐがゴールならず。

バディーS は、ワントップに張った2番阿部君にボールを集め、サイドに散らす形で序盤はバディーが流れを引き寄せる。しかし、バディーの攻撃に対し GINGA の3バックがワイドにポジションを取り、徐々に対応して行くことで流れが変わり始める。

前半7分、GINGA 7番齋藤君が右サイドでボールを受け、ドリブルでスペースを見つけながら中へ侵入していき、ロングシュートを放つも、バディーS 31 番 GK の池田君が素晴らしい対応でボールを弾いて CK。CK も GINGA のビックチャンスとなるが、またもバディーS GK の池田君がセーブし、得点を許さず。

徐々に GINGA の連携が噛み合いだす。しかし、バディーS も黙っていない。

前半 11 分、バディーS が連携からゴール前で抜け出しチャンスを作るが、GINGA がなんとかボールを奪取し、そのまま GINGA のカウンターへ。再び 7 番齋藤君が右サイドでボール受け、左サイド GINGA19 番大久保君へボールが繋がるもオフサイド。両チーム攻守の切り替えが早くなり、ゲームスピードも上がってきた。

前半 14 分、試合がついに動き出す。GINGA7番齋藤君がセンターサークル付近で、相手を背負った状態でゴール前からのロングボールを受ける。その際、相手と入れ替わる技ありのアウトサイドトラップで抜け出し、GK と1対1へ。バディーS GK の池田君も絶妙な飛び出しを見せたが、GINGA7番齋藤君がペナルティーエリアの外から正確なインサイドでゴール右サイドに流し込み先制。

さらに前半 16 分、GINGA の勢いが止まらない。CK のチャンス。キッカー7番齋藤君が蹴ったボールは、ゴールエリアニアサイドに落下。そこに GINGA5番櫻田君が走り込み、正確なダイレクトインサイド。ゴール右サイドに決まり、貴重な追加点となった。

前半 19 分、バディーは1点を返したい状況の中でも焦らず正確にパスをペナルティーエリア手前でつなぐ。左サイド 3 番阿立くん、6 番天春くん、13 番桐原くん、そして最後にもう一度 3 番阿立くんと細かいワンタッチで抜け出し、ゴール前までつないだが、惜しくもゴールならず。前半は GINGA が2-0とリードして終了。

後半は、GINGA ボールでキックオフ。

後半2分、GINGA のコーナーキック。シュートを放つも、相手の足に当たり、ゴールならず。

後半5分にはバディーSGK の池田君のゴールキック1発で13番桐原君が抜け出しループシュート。ゴールかと思われたが、GINGA GK の堀口君のスーパーセーブでゴールならず。

後半8分~10 分には、GINGA はコートを広く使いサイドから攻撃を仕掛け、狭い局面ではワンタッチを使用。一方のバディーS は、ボールホルダーに対してのサポートが早く狭いエリアでも細かいワンタッチを駆使し、局面を打開していく。

両チームともに、ワンタッチを駆使した技術力の高い攻撃が見ている者を魅了する。

後半 12 分、バディーSに CK のチャンス。20 番花島くんがダイレクトボレーを放つもゴール上に外れる。

後半 13 分、バディーSの時間が続く。ペナルティーエリア内でも細かいワンタッチをつなぎ、シュートまで持っていくがあと一歩でゴールならず。GINGA も次の1点の重要性を分かっている為、ゴールを割らせない。

後半 17 分、再度 GINGA に流れが傾き出す。GINGA14 番末松君がインターセプトからキーパーの位置を見てロングシュート。惜しくもゴール左に外れた。

後半 18 分、GINGA18 番高橋君がペナルティー右 45 度の位置で1対1。半歩タイミングをずらし、アウトサイドで中へボールを進め、インフロントでカーブをかけゴールを狙う素晴らしいシュート。これは入ったかと思われたが、またもバディーS のキーパー池田君のスーパーセーブでゴールならず。その直後の GINGA CK のチャンスもまたもバディーS GK 池田君がファインセーブ。チーム

を助ける。

後半 20 分、バディーS CK のチャンスにヘディングシュートを放つもポストに嫌われる。結局、後半は両チームとも得点を奪えず試合終了。前半のリードを守った GINGA が2-0で勝利を収めた。

両チーム疲労がある中で、攻守ともによく走り、トラップ、オフザボール、ドリブルスピードのコントロール、そして何よりも正確なインサイドを駆使したパス技術が光る素晴らしい試合であった。まだまだ伸び続ける選手たちの成長がますます楽しみです。

戦評担当:磯辺 FC 田中